

令和8年第2回伊奈町議会（定例会）

発言順	質問議員	質問事項	質問要旨		
1	藤原義春 一問一答方式	1 伊奈町の高齢者を守るために	1 高齢者の生きがい対策は充分か。長寿クラブの活動支援は充分に行われているか。		
			2 認知症の人が増えているが、地域見守り支援は大丈夫か。		
			3 介護保険サービスの利用者負担軽減は、十分に周知されているか。		
			4 フレイル対策等保健事業は充分に利用されているか。		
			5 シニアスマホ教室は、もっと拡充できないか。		
			6 いきいき長寿パスポート事業は、もっと拡充できないか。		
		2 A I オンデマンドバスの導入について	1 埼玉県の鳩山町は、「はとタク」と町民に親しまれていて、年間2万4千人の利用者がいる。福祉の面からも、鳩山町を参考にし、町内なら、運賃200円で運用してほしいが、町の見解は。ただし、300円、600円の例外があります。		
			2 鳩山町では、デマンドタクシー（はとタク）の運行経費として約4千万円かかっており、運賃収入を差し引いた諸経費の8割が特別交付税として措置されているそうだが、この点について町の見解は。		
		2	木俣美千代 一問一答方式	1 チーム担任制の導入について	1 本町の小中学校においてチーム担任制に類する取組みが行われているか伺う。
					2 教員の負担軽減や児童生徒支援の充実という観点からチーム担任制の導入についてどのように認識しているか伺う。
2 後期高齢者健康診査でフレイルの早期発見を	1 後期高齢者健康診査の近年の受診率の推移は。				
	2 受診券の送付以外に、どのような周知・啓発を行っているか。				
	3 未受診者の状況をどのように認識しているか。				
	4 後期高齢者健康診査の受診をきっかけにフレイル予防や重症化予防が重要ですが保健指導や介護予防事業との連携は。				
3 災害時における住民の生命と生活をまもる体制整備について	1 子どもや乳幼児を想定した低床タイプや安全性に配慮した段ボールベッドの導入の見解は。				
	2 避難所に情報伝達の方法として案内表記にピクトグラムを導入する見解は。				
	3 役場庁舎内のエレベーター内に防災チェアの設定の見解は。				
	4 町が把握している防災井戸の設置数及び配置状況と民間井戸の協力体制の有無を伺う。				
3	戸張 光枝 一問一答方式			1 持続可能な観光振興と民間連携による滞在型観光の推進を	1 伊奈氏屋敷跡の文化財指定の現状と今後の方向性は。
					2 伊奈忠次公関連イベントの現状評価と、今後の発展に向けた方針は。
		3 南の伊奈氏屋敷跡と北のバラ公園を結ぶ周遊ルートの形成、案内サイン整備、二次交通の充実を含めた回遊性向上策について今後の取り組みは。			

3 戸張 光枝	1 持続可能な観光振興と民間連携による滞在型観光の推進を	4 観光拠点としての受入環境（案内機能、休憩施設、宿泊機能等）の課題は。	
		5 既存のレンタサイクルの観光利用の現状と課題、今後の活用方針は。	
		6 バラまつり期間中における滞在時間の延伸と消費拡大に向けた具体策、特に民間との連携で宿泊を見据えたコンテナ型ホテル等の導入可能性についての見解は。	
		7 E V利用観光客の受入れ環境整備として、充電インフラの整備をどのように進めていくのか。また、民間事業者との連携による導入の可能性についての見解は。	
		8 関西電力が展開するE V充電サービス「カンモビチャージ」のような、自治体負担を抑えた「官民連携モデル」の導入について、本町としてどのように評価し、検討していくか。	
		9 観光協会や民間事業者、地域住民と連携し、収益性を伴う持続可能な観光モデルについて今後の展開は。	
		10 世界の持続可能な観光地トップ100に代表されるような国際的視点を踏まえ、本町の観光戦略について今後の展開は。	
		2 アート展の検証と文化芸術の裾野拡大を	1 町展からアート展への移行の経緯と目的は。
			2 昨年度実施のアート展について、来場者数、出展者数、新規参加者の状況など成果は。
			3 運営面、参加状況、質の確保など初回開催の課題認識は。
4 伊奈町美術家協会や文化団体と町の連携について、どのように位置付けているのか。			
5 今年開催の第二回アート展において文化芸術の質と裾野拡大の両立について見解を。			
6 文化芸術を「継承するもの」としてだけでなく、「育てていくもの」として、どのようなビジョンを持って取り組んでいくのか。			
3 地域防災の強化、電力系統用蓄電所の誘致およびレスキューホテルの活用を	1 電力系統用蓄電所の持つ防災機能およびインフラとしての意義について見解を。		
	2 本町における蓄電所誘致の可能性について、用地条件やインフラ条件を踏まえどのように評価しているか。		
	3 災害時の電力確保の観点から、民間事業者との連携や協定締結の必要性について見解を。		
	4 本町における要配慮者の避難環境の現状と課題は。		
	5 レスキューホテルのような移動式宿泊インフラの有効性についての評価は。		
	6 レスキューホテルに関する災害協定の締結を含めた導入可能性について、検討の余地はあるか。		
	7 導入にあたり想定される課題（用地確保、費用負担、運用体制、安全対策、住民理解等）について見解を。		
4 不登校児童生徒への支援体制の実効性に関して	1 不登校の実態把握について、直近3年間の不登校児童生徒数の推移は。（小・中別）		

3	戸張 光枝	4 不登校児童生徒への支援体制の実効性に関して	2 教育センター・校内教育支援センターの受け入れ能力と実利用の乖離について、定員および1日平均利用者数は。
			3 「外に出られない層」へのアプローチに関して、不登校児童生徒のうち、週1回以上外出できない児童生徒の把握は。
			4 ICT・オンライン学習の実効性について、タブレット貸与済みの不登校児童生徒数と全体に占める割合は。
			5 相談体制の機能性について、担任以外の相談窓口の設置校数と利用件数は。
			6 スクールカウンセラーの稼働実態について、各校の配置日数と年間相談件数は。
			7 フリースクール利用と経済的負担軽減策について、フリースクール通所児童生徒数の把握は。
			8 支援制度につながっていない児童生徒、外に出られない不登校層に対する支援について見解と改善計画は。
			4
2 第5期埼玉県通学路整備計画の町内の管理者ごとの進捗状況は。			
3 道路標示の管理区分は。			
4 側溝に蓋が設置されている空間は、道路管理上「歩道」か「路肩」か。			
2 街区公園などの維持管理と活用について	1 公園のトイレの設置状況と今後の改修予定は。		
	2 公園遊具の点検状況は。		
	3 多世代共存におけるトラブルの発生状況は。		
	4 都市公園の中でもさまざまな種類があるが、設置の基準はあるか。		
	5 公園内の防犯対策として、防犯カメラ設置の考えは。		
	5	山野智彦 一問一答方式	
2 年金、給付に頼るだけでなく「自らも稼ぐ」「生涯現役」の選択肢をシニアに示し、支援することについての町の基本的な考えを問う。			
3 町と住民の維持発展のためにも、大掛かりな起業でなくても、プチ起業、フリーランスとして「小さく稼ぐ」モデルを町として積極的に発信、奨励する考えはあるか。			
4 定年後に生かせる資格の取得について、講座の開催や資格取得の支援を行う考えはあるか。			
5 シニアの起業、プチ起業、フリーランス支援を町の活性化、健康長寿推進のひとつの鍵として、総合的な計画と位置づけ、町全体での支援体制を構築する考えを問う。			

5	山野智彦	2 デジタル教科書への移行に対する懸念について	1 政府は、2030年度からデジタル教科書を正式な教科書として導入する方針を閣議決定した。紙、デジタル、ハイブリッドの選択は各教育委員会の裁量に委ねられるとされているが、町教育委員会は、どのような方針で臨む考えか。
			2 文科省の「経年変化分析調査」では、2016年度と比べ、2024年度に小6・中3生の学力テストの全国平均スコアが大幅に低下したとされている。町の児童、生徒の学力推移について、どう把握しており、タブレットとの関連をどう分析しているか。
			3 デジタル画面での学習は紙媒体と比べて理解力、記憶力において劣るとする研究が複数存在する。紙と比べてデジタルは「浅い読み」になりやすいとも指摘されている。こうした知見を町教育委員会は、どう認識し、授業設計に反映させているか。
			4 既に諸外国では見直しがされているデジタル化を「周回遅れ」で推進することに対して冷静な判断が必要と考えるが、町の見解を伺う。
			5 タブレットの長時間使用による視力低下、集中力低下、デジタル依存症の深刻化が懸念されている。町内学校現場における実態把握と具体的な対策はどのようになっているか。
			6 全国の教育委員会の6割がデジタル教科書の正式採用に懸念を示している。町教育委員会として、国の方針に追随だけでなく、子どもの学力、健康を最優先に置いた慎重かつ独自の判断を行う考えはあるか。
		3 生成AI活用の光と影について	1 町内の児童、生徒における生成AIの利用実態をどう把握しているか、また有用性と懸念点についての基本的見解はどうかを伺う。
			2 生成AIに依存しない「考える力」「自己決定力」「主体性」を守り育てるために、授業設計や家庭学習指導においてはどのような方針をとっているか。
			3 教師向けの生成AIに関するガイドラインのようなものはあるか。あるならばその内容はどのようなものか。
			4 読書、現場体験、対話、内省など、アナログの学びの価値を改めて教育の中に位置づけ、生成AIを含むデジタルとのバランスをとる方針を明確にする考えはあるか。
			5 町として行政活用上の生成AI利用のルール、ガイドラインの整備状況と、職員へのスキル研修、リテラシー研修の実施について伺う。
			6 人間が主体性をもってAIを活用する姿勢を明確にするための、町としての理念、指針、方針を問う。
	6	大沢淳 一問一答方式	1 循環バスいなまるとAIオンデマンド交通の導入について
2 運行日及び運行時間を含めた運行計画について伺う。また、運行車両を3台とする根拠及び利用需要に対して十分な運行体制であると考えているのか伺う。			
3 乗降場所について、行田市で実施されているような自宅送迎を導入すべきと考えるが見解を伺う。また、指定乗降場所の選定基準及び具体例を伺う。			
4 蓮田駅等の町外主要施設への乗り入れについて、利用者利便性向上の観点から実施すべきと考えるが見解を伺う。			

6	大沢淳	1 循環バスいなまるとAIオンデマンド交通の導入について	5 料金体系は、現在のいなまる利用者への配慮をすべきと考えるが見解を伺う。また、妊産婦への優遇措置を導入すべきと考えるが見解を伺う。
			6 帰りの予約方法について、携帯電話等を利用できない場合を含めた利用困難者への対応、及び予約のない利用者が指定乗降場所から乗車できる仕組みをどのように考えているのか伺う。
			7 運行事業者の選定方法及び町内事業者の参入機会確保について伺う。
			8 循環バスいなまる廃止への不安と、AIオンデマンド交通への期待の双方が広がる中、住民への十分な説明と周知をどのように進めるのか伺う。
	3 学校図書館支援員の勤務環境改善と学校図書館機能の充実について	1 学校図書館支援員が、選書、発注、登録、配架、蔵書点検、図書日より作成、読書活動支援、授業支援など専門性を要する業務を一人で担っている実態について、教育委員会の認識を伺う。	
			2 もともと一人で担う業務量が多いうえに、学校規模や図書購入予算の増加、授業支援等により業務量が増えている中、勤務時間・勤務日数が十分でなく、サービス残業や期末・勤勉手当の対象外となっている実態について、認識と改善の考えを伺う。
			3 令和6年3月議会では、学校図書館支援員について年間120日以内の勤務制限を撤廃するとの答弁があったが、令和8年度資料では夏季休暇及び年次有給休暇を勤務日数に含む運用となっている。その結果、有給休暇取得により実質的な出勤日数が減少している実態について認識を伺う。
			4 学校図書館支援員に対する研修機会が減少しているとの声があるが、専門性向上に向けた研修体制について伺う。
			5 現在使用している学校図書館資料管理システム「CASA」は導入から約20年が経過しており、操作性や機能面で課題があるとの声がある。令和6年3月議会ではTRCシステム導入を検討するとの答弁があったが、検討状況を伺うとともに、導入を求める。
			6 学校図書館端末のインターネット未接続状態やパソコン不具合により、図書館業務や調べ学習支援に支障が生じているとの声がある。学校図書館のICT環境改善について伺う。
7	大野興一 一問一答方式	1 伊奈町の道路行政について	1 町道第4239号線、町道第4240号線は損傷が著しく、通行に支障をきたしている、丸山区の地域住民からの改善の要望があったか。
			2 今後、早急に修繕の予定はあるか。
			3 特に損傷が激しくなった原因は何だと思われるか。
			4 原因がはっきりすれば、原因者に修繕費用を負担させることは可能か。
			5 他に、町道で大型車両による町道の損傷が著しい箇所はあるか。

7	大野興一	2 栄5丁目の一灯点滅式信号機の廃止が検討されていると言うが、その内容について	<p>1 一灯点滅式信号機は全国的に廃止の方向にあるというが、その理由は。</p> <p>2 現在の交差点に一灯点滅式信号機がつけられた理由は。</p> <p>3 一時停止のみの標識の時と、一灯点滅式信号機がつけられた後の当該交差点での交通事故の件数は。</p> <p>4 廃止のため、地域住民への説明会は行われたのか。</p> <p>5 説明会に参加した住民は廃止に賛成したのか。</p> <p>6 地域住民には周知されているのか。</p>
8	仲島雄大 一問一答方式	<p>1 シルバー世代の活躍の場づくりについて</p> <p>2 持続可能な財政運営について</p> <p>3 南小学校通学路の交通安全対策について</p>	<p>1 シルバー世代の知識や経験を地域で生かすことについて、町の認識を伺う。</p> <p>2 シルバー世代の活躍の場を創出するため、相談を受け止める仕組みの現状を伺う。</p> <p>3 教育委員会、福祉部門、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地域団体等との連携の現状を伺う。</p> <p>4 シルバー世代の知識や経験を生かしたモデル的・試行的な取組を行う考えがあるのか伺う。</p> <p>1 町が内部的に作成または活用している中長期財政推計について、対象期間、前提条件、基金残高、地方債残高及び公債費の見通しを伺う。</p> <p>2 令和8年度末の財政調整基金残高予測5億8,177万円について、財政運営上の安全性と過去答弁で示された標準財政規模8%から10%の目安との関係を伺う。</p> <p>3 財政調整基金を今後どの程度の期間で、どの水準まで積み戻す考えなのか、目標水準と具体的な方針を伺う。</p> <p>4 財政調整基金残高がどの水準を下回った場合に、歳出削減、事業見直し、住民負担見直し等を想定するのか基本的な考え方を伺う。</p> <p>5 財政調整基金残高、地方債残高、公債費、扶助費、公共施設更新費用等を含む中長期財政見通しを町民に公表する考えがあるのか伺う。</p> <p>1 町は、当該一灯点滅式信号機の設置経緯や安全上の課題をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>2 町は、当該箇所の特長や現場状況を踏まえ、上尾警察署等とどのような協議・情報共有を行っているのか伺う。</p> <p>3 町は、標識等による安全対策と追加対策の必要性をどのように認識しているのか伺う。</p> <p>4 町は、撤去後の安全状況や地域住民、保護者の不安をどのように把握し、必要な追加対策につなげていくのか伺う。</p>
9	五味雅美 一問一答方式	1 外国人差別を許さない対応を	<p>1 外国人が生活保護や国民健康保険、就学援助などで優遇されている、違法に受けている、或いは外国人の土地取得に問題がある、治安が悪くなっているなどということについて、実際はどうか。</p> <p>2 外国人向けのごみカレンダーやガイドブックの作成、改善を進める予定はあるか。</p>

9	五味雅美	1 外国人差別を許さない対応を	3 在留許可の手数料引上げ、「経営・管理」ビザの厳格化などが予定されているが、外国人を追詰めることになる。雇用している町内企業や店舗などへの影響をどう考えるか。		
			4 今、外国人問題が取沙汰されている背景は何か。町の見解は。		
		2 不登校親の会への支援を	1 不登校の支援する教育センターと校内教育支援センター、相談室について、それぞれの違い、また対応する指導員、支援員、相談員が行うことの違いは何か。また利用者がいずれかを選択するに当たって、条件などの違いはあるのか。		
			2 校内支援センターを小学校にも設けるべきではないか。		
		3 不登校親の会の取組みに、町又は町教育委員会が後援したり、窓口となったりするなど、他自治体でも行っている支援を行うべきではないか。			
10	栗原恵子 一問一答方式	1 長寿を地域で称える敬老祝金制度の充実について	1 現在の敬老祝金制度について、町は「高齢者福祉」、「地域敬老意識の醸成」の観点から、どのような成果があると認識しているのか。		
			2 100歳以上の方に対する敬老祝金について、長寿への敬意を示しつつ、今後の高齢化も見据えた持続可能でメリハリのある制度として、5歳刻みで祝金を支給する仕組みを検討する考えはあるのか。		
			3 今後「健康長寿のまち・伊奈」の実現に向け、敬老施策を単なる祝金の給付に留めず、高齢者を地域全体で称える施策をどのように進めていく考えか。		
		2 特定空き家予備軍への早期介入と地域安全対策について	1 過去数年間における空き家の通知件数、改善件数、未改善件数の推移はどうなっているのか。また、改善率を町はどのように分析しているのか。		
			2 通知後も改善されない案件について、再通知、訪問指導、関係機関との連携、どのような段階的対応を行っているのか。		
			3 郵送通知後の現地確認や訪問指導等の実施状況は。		
			4 「管理不全空家等（特定空き家予備軍）」を町としてどのような基準で判断し、指導しているのか。		
			5 町内における「所有者特定困難案件」の現状件数は。		
			6 今後、空き家の深刻化を未然に防ぐため、町としてどのような予防的対策を強化していく考えか。		
		11	富井篤弥 一問一答方式	1 町の公営上下水道事業について	1 上下水道料金の長期的な今後の見通しは。
					2 上下水道料金の福祉減免についての町の取組や考え方を伺う。
					3 町民生活を守るため公営上下水道事業を維持していくことが求められるが、水の官民連携について町の考え方を伺う。
				2 町の企業誘致戦略を問う	1 町の企業支援ワンストップ相談窓口における企業誘致や起業に関する相談等から、実際に企業誘致や起業に結び付いたケースを伺う。
2 町における現在の企業誘致の基本姿勢は。					
3 企業誘致に係る町長の役割は。					
4 町で企業誘致戦略を策定する考えは。					

11	富井篤弥	3 町民生活を守るため、特定空家認定の推進と対応を	1 特定空家及び管理不全空家の判定基準の作成に関する現在の進捗は。
			2 特定空家や管理不全空家の認定の障壁となっている課題等はあるか。
			3 町の空家対策施策において、埼玉県空き家・所有者不明土地対策連絡会議をどのように活かしているか伺う。
12	武藤倫雄 一問一答方式	1 物品購入等の契約の一般競争入札の導入について	1 要綱の全部改正の経緯と目的はどうか。
			2 改正後の物品購入、役務の入札経過と入札結果並びに落札率はどうか。
			3 要綱の特徴的な改正点はどうか。
13	青木久男 一問一答方式	1 好ましい情報公開のあり方を求めて	1 昨今の開示件数及び内容の傾向はどうか。
			2 ネット時代の情報公開はどうあるべきか。
			3 いわゆるオープンデータ化の取組状況はどうか。
	2 町内での県施工事業について進捗状況や完成年度等を伺う	1 原市沼調節池上の池について。	
		2 都市計画道路伊奈中央線未開通部分について。	
			3 洪水対策としての綾瀬川整備について。